



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第11号
平成30年3月14日
校長 松丸 晴美

「有終の美」

本格的な春の訪れが待ち遠しい頃です。「光陰矢の如し」という言葉のとおり、月日が流れるのは本当に早いものです。三年生からの進路合格の朗報や残念な結果の報告に一喜一憂した日もありましたが、最上級生として立派な姿を見せてくれていた生徒達が巣立つ日が近づいてきました。

学校も年度初めに設定した目標をどれだけ実現できたか、何が課題として残されたか生徒や保護者、地域の皆様のアンケート結果

や教育活動の成果と課題を土台にして、来年度に向けた様々な計画づくりに着手しているところです。

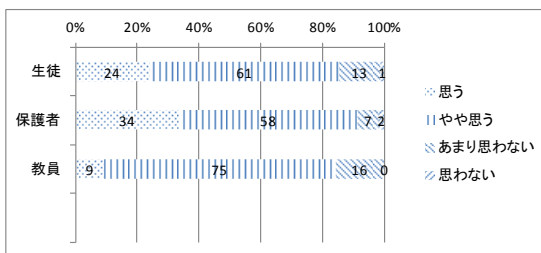
次年度は、放課後のステップアップ教室に英語を加えたり、漢字検定試験や英語検定試験を校内で実施するなど、生徒の自学自習に対するバックアップ体制をさらに強化していきたいと考えています。

保護者・地域の皆様には、開校70周年の記念式典・祝賀会を始めとする様々な教育活動でご支援・ご協力をいただき、誠に有り難うございました。改めてお礼を申し上げます。

〈平成29年度 生徒・保護者・地域代表者・教職員による学校評価アンケートまとめ〉

※単位は%です。(グラフは四捨五入して整数値)

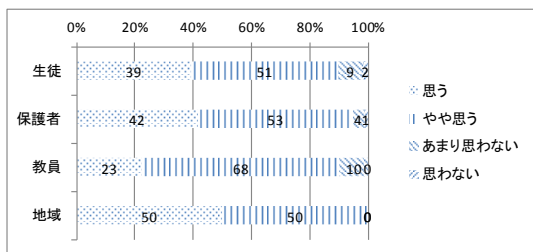
1 相手の身になり、思いやりの気持ちをもって生活している。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	24.3	61.2	13.2	1.3
保護者	33.9	57.5	6.7	1.9
教員	9.4	75	15.6	0

・教職員の肯定的評価は昨年度より大きく上昇しましたが、生徒・保護者が「思う」の割合が多いのに比べ教職員は「やや思う」の割合が多かったです。
・実際に教員が指導したいじめの件数や実態から考えると、親子とも「された側」と「やった側」の意識に差があると考えられます。

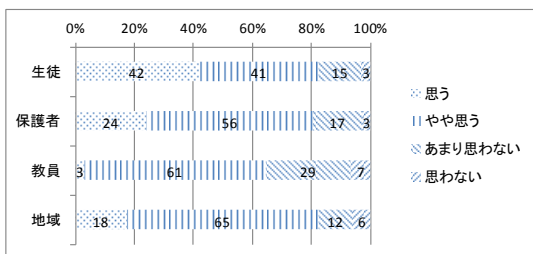
2 ルールやマナーを守り、規律ある学校生活を送っている。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	39.3	50.5	8.6	1.6
保護者	41.6	53.3	3.7	1.4
教員	22.6	67.7	9.7	0
地域	50	50	0	0

・四者とも90%前後が肯定的評価であり、規律ある学校生活ができました。特に校外学習や宿泊行事などを見ると、昨年度と比較して、生徒の規範意識が大きく改善しました。

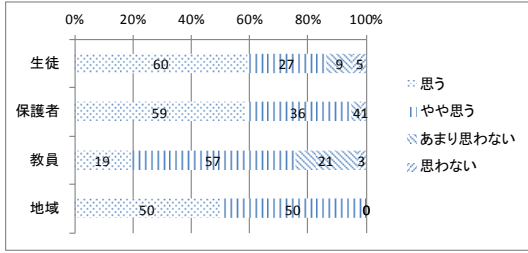
3 家庭や地域などで声を出してしっかりあいさつができています。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	42	40.5	14.5	3
保護者	24.3	56.3	16.7	2.7
教員	3.2	61.3	29	6.5
地域	17.6	64.7	11.8	5.9

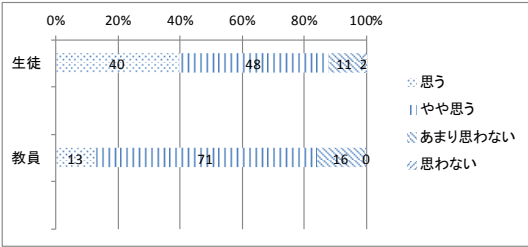
・昨年度と比較すると、教職員、地域からの評価が大きく改善しました。学校の中で、生徒も挨拶を意識して行うようになり、来校者からお褒めの言葉をいただくことが増えました。今後も、生徒会や部活動を通して、たえず呼びかけ改善を心掛けていこうと思います。地域の方からは来校時の印象が良いと評価されました。

4 登校時にはバッチを着用し、始業式に着的式服など、場に応じた服装を考えてきちんとした着こなしができています。



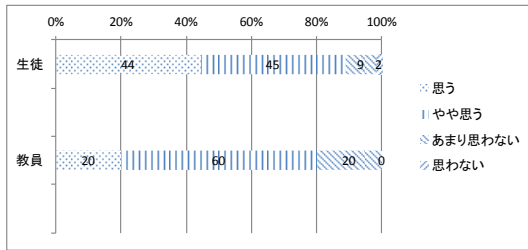
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	
生徒	59.5	26.7	9.2	4.6	・昨年度より教職員の肯定的評価が大きく上昇しました。式服の着こなしを中心に生徒の意識も向上しました。バッチの着用は生徒からも呼びかけて着用率を上げるようにしています。私服であるため、生徒自身が意識を高くもつ必要があります。新入生の保護者にも協力を呼びかけ、家庭と連携を図っていきます。
保護者	58.6	36.1	3.8	1.4	
教員	19.4	56.5	21	3.3	
地域	50	50	0	0	

5 場に応じた言葉遣いや返事ができている。



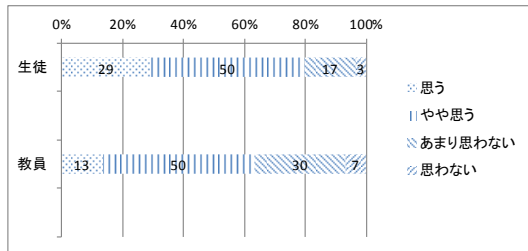
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	
生徒	39.8	48.1	10.6	1.6	・生徒、教職員ともに90%近い肯定的評価が出ています。しかし、1年生はまだ小学生の意識のような一面も見られ、教員や上級生(目上の人)への言葉遣いがきちんと出来ない(友達言葉になる)場面がみられました。その場で、やり直しをさせるなどして適切な言葉遣いができるように指導を継続していきます。
教員	12.9	71	16.1	0	

6 時間を守ること。



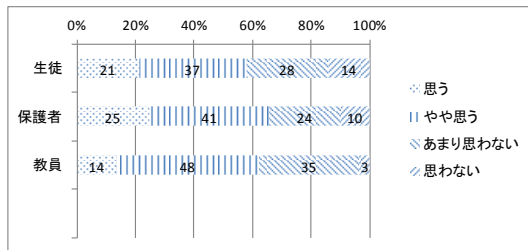
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	
生徒	44.3	44.6	9.4	1.7	・授業開始時刻や朝礼開始時刻を守るよう指導し成果があがりました。冬場は朝の登校時間が遅れがちなので、時機を逃さず声かけしています。また、教員はチャイム前に教室にいて、チャイムとともに授業が開始できるようにしています。宿泊行事においても時間前に行動する習慣がすっかり身に付いてきました。
教員	20	60	20	0	

7 話を聞く態度を素早く整えること。



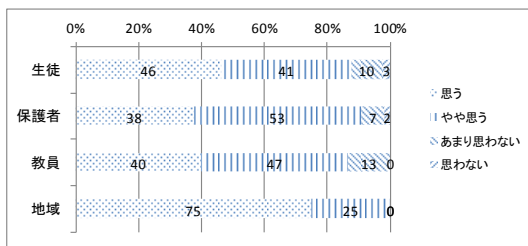
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	
生徒	29.3	50.4	17	3.4	・全校朝礼や避難訓練など、学校全体では、生徒一人一人が自覚して行動し、非常に良い状態です。しかし、2年生で話を聞く態度にやや課題があったので、宿泊行事では生活目標の中心に据え指導した結果、生徒の意識も高まり、その後の学校生活においては改善された様子を実感できました。
教員	13.3	50	30	6.7	

8 家庭学習に取り組み、学力を向上させようとしている。



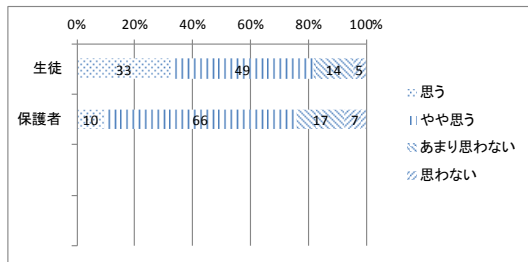
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	
生徒	21.3	36.5	28.2	14	・生徒、保護者が昨年度より肯定的評価の割合が高くなりました。家庭学習の習慣は学年によって差があり、特に1年生で定着していない状況が散見されます。各教科で、定期的に宿題を出す、放課後のステップアップ教室で学習の手助けをすることなどで改善を図っていきます。
保護者	24.9	40.9	24.3	9.9	
教員	13.8	48.3	34.5	3.4	

9 運動会や合唱コンクールなどの学校行事は、充実している。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	
生徒	46.4	41.3	9.8	2.5	・生徒、保護者、教職員ともに90%前後、地域は100%の肯定的評価であった。しかし、少数ですが行事の内容や日程等について否定的意見も見られるので、各行事の目的を明示し保護者には理解を求めながら、生徒にとって安全で、教育効果の高い学校行事になるよう次年度も工夫をしながら取り組んでまいります。
保護者	37.5	53.3	7.1	2	
教員	40	46.7	13.3	0	
地域	75	25	0	0	

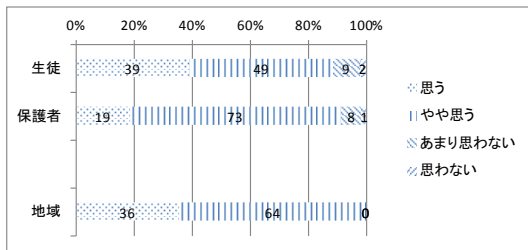
10 各教科の評価・評定は、適切に行われている。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	32.7	49.2	13.5	4.5
保護者	9.6	66.2	16.8	7.4

・昨年度より、保護者の肯定的評価の割合が減少してしまいました。年度当初に評価に関する校内研修を行い、適切な評価・評定に努めるとともに、次年度も、年度当初の保護者会や進路説明会、三者面談等で、評価規準や評定決定の方法等について丁寧に説明してまいります。

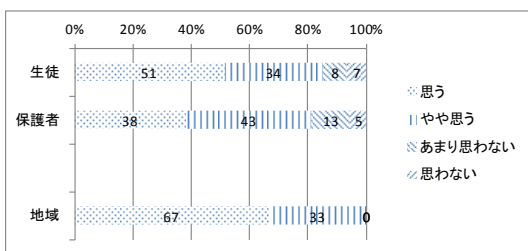
11 安全指導や防災訓練など、お子さんの安全に関する指導を適切に行っている。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	39.2	49.4	9.4	2
保護者	18.7	72.6	7.9	0.9
地域	35.7	64.3	0	0

・毎月の避難訓練を火災、地震、不審者、Jアラートなどの多様な形態で行い、時間帯も授業中や放課後など様々なケースを想定して行っています。生徒の訓練への参加態度は非常に良かったです。

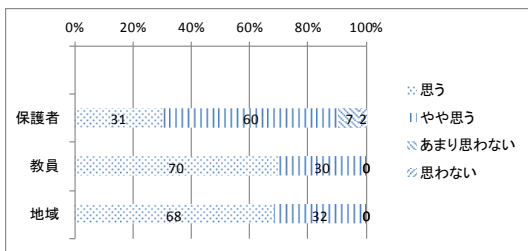
12 部活動の活動状況は充実している。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	51.4	33.8	8.3	6.5
保護者	38.2	43.1	13.4	5.3
地域	66.7	33.3	0	0

・保護者や生徒の部活動に寄せる期待は大きく、生徒も含め肯定的評価が高い一方、個々に相談を受けるケースも見られます。保護者の話に傾聴し、可能なものについては改善していきます。働き方改革を進めるためにも、外部指導員の導入、複数顧問制、終了時間の徹底などにより顧問の負担軽減を図っていきます。

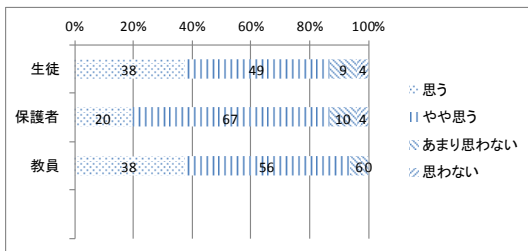
13 学校は、学校だより・学年だよりやホームページなどで学校の様子を適切に発信している。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
保護者	30.6	59.9	7.3	2.2
教員	70	30	0	0
地域	68.4	31.6	0	0

・学校だよりや学年だよりは定期的に発行しています。学校ホームページも通常一日400件程度の閲覧数があり、宿泊行事は保護者の関心が特に高く、約1000件のヒットが見られました。引き続き、学校日記の毎日の更新を心がけ、生徒の活動を紹介してまいります。

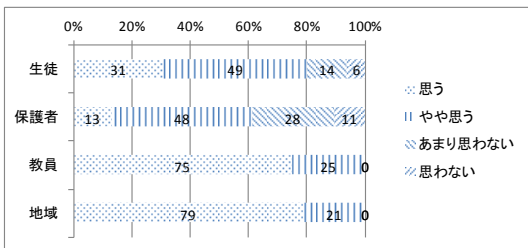
14 ルールやマナーを守る指導を適切に行い、生徒が誤ったことをしたときは家庭と連携し、きちんと指導をしている。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	37.5	49.2	9.4	3.9
保護者	19.7	67	9.5	3.8
教員	37.5	56.3	6.3	0

・教員は日々、緊密に保護者と連絡をとっています。問題があったときだけでなく、日頃の様子も伝えるようにすることで、保護者との信頼関係がより深まっていくので、家庭との実践を図ってまいります。

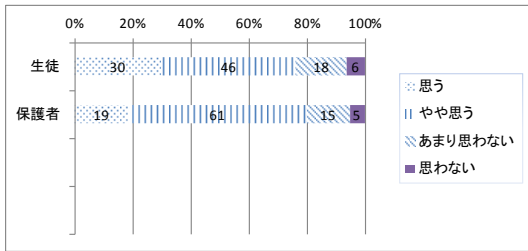
15 生徒、教職員、保護者、地域関係者は70周年記念行事への取組を通して、学校の歴史について振り返り、母校・地域の学校としての愛校心を育むことができた。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	31	49.2	13.7	6.1
保護者	13.3	48	28	10.7
教員	75	25	0	0
地域	78.9	21.1	0	0

・保護者には周年行事にあまり関心がない方もいたのか肯定的評価がやや低かったです。生徒には、朝礼で学校の歴史に触れた講話をしたり、シンボルマーク等を募集したり、校内展示や記念式典でのプレゼンテーションをさせるなど生徒参加型を目指したことにより、生徒・教職員の肯定的評価は8割を超えました。

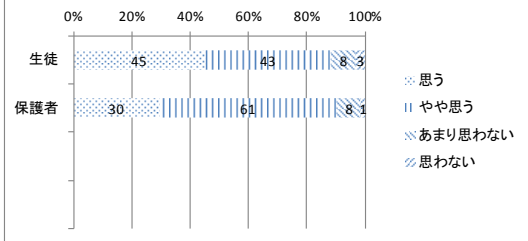
16 先生やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員などは親身になって相談にのっている。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	29.9	46.3	17.6	6.2
保護者	18.6	61.3	14.8	5.3

・保護者の肯定的評価は昨年より上昇しましたが、生徒の評価はやや低くなりました。教員の対話力をより一層磨き、生徒一人一人への個別指導を疎かにしないよう心がけて指導に当たってまいります。

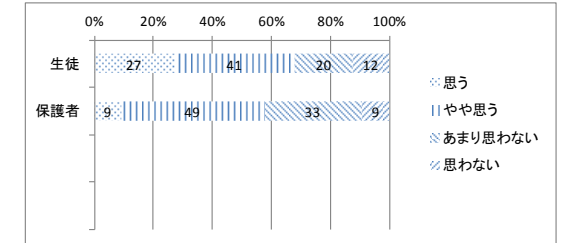
1 年生の職業調べ、2 年生の職場体験、3 年生の上級学校訪問、
17 マナー教室、卒業生のお話を聞く会、高校の先生のお話を聞く会は、働くことや進路について考える学習となっている。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	45.1	43.2	8.3	3.3
保護者	29.7	60.6	8.3	1.4

・昨年度同様、肯定的評価が高くなりました。地域の事業所、各高等学校、卒業生の協力もあり、充実したキャリア教育学習活動を実施することが出来ました。次年度もこのまま継続してまいります。

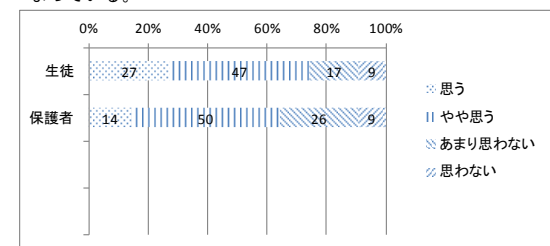
学校では、オリンピックやパラリンピックについての学習を進めています。その学習によって、オリンピックやパラリンピックに対する興味・関心が高まっています。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	27.3	40.8	19.7	12.2
保護者	9.2	48.5	32.8	9.4

・学校としては、今年もゲスト・ティーチャーを多く招聘するなど、オリンピック・パラリンピックに関わる取組に力を入れてきましたが、昨年度から変わらずもう一息の評価となりました。生徒や保護者に、オリンピック・パラリンピック学習はスポーツだけではないことを強調し、さらに理解を深めていきます。

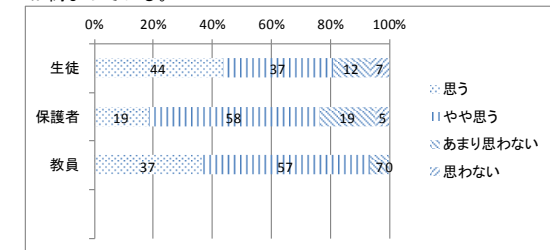
留学生のお話を聞く会や校外学習・修学旅行での外国人インタビュー、SDGs講演、服のチカラプロジェクトなどの国際理解教育の取組を通して、世界に目を向け国際社会への興味・関心が高まっています。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	27.3	46.9	16.7	9.2
保護者	14.4	49.8	26.4	9.4

・単発的な行事としてではなく、事前・事後指導を丁寧に進め、記録と記憶に残る活動にしてまいります。国実施の学力調査(3年)結果を見ると、国や都に比べ、生徒の海外や国際社会に関する興味・関心はかなり高く、国際社会での活動意欲も高まっていることから、学校での取組に一定の成果があがっていると考えます。

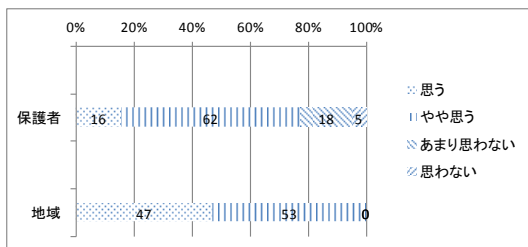
茶道(3年)、和楽器(2・3年)、着付け(2年)、落語(2年)、弓道(2年)、切り絵(1年)、和菓子作り(1年)などの日本文化体験学習を通して、日本の伝統文化に対する興味・関心が高まっています。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
生徒	43.7	37.3	12.4	6.6
保護者	18.6	57.7	19.2	4.5
教員	36.7	56.7	6.7	0

・JET青年とともに活動したことで、日本の伝統文化に対する興味・関心が高まっただけでなく、外国人に対して発信しようという気持ちが醸成されてきていると感じます。都の事業指定は終了しましたが、学校独自で、着付けや茶道等の伝統文化に関わる活動を継続してまいります。

21 わが子や地域の子どもたちをなるべくほめるようにしている。



	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
保護者	15.7	61.5	18.1	4.7
地域	47.1	52.9	0	0

・学校評議員から入れてほしいと意見があった質問項目でしたが、昨年度と変わらない評価結果となっています。引き続き保護者へ啓発を続けていきます。

3年生社会福祉体験

2月29日より3月9日まで、3年生の社会福祉体験がありました。生徒は小グループに分かれ、1月に行った認知症サポーター養成講座でもらったオレンジリングを付けて、近隣の老人福祉施設へ出発しました。体験に先立ってグループ毎に事前に打ち合わせを行い、クイズ、塗り絵、演奏、折り紙、ゲームなどの準備を



してきました。体験中に3学年の教員がご挨拶にまわり、活動の様子も見てきました。生徒達は普段とは違う活動にみんなとても気を遣って疲れたようでしたが、利用者の方には中学生が来たことをとても喜んでいただき、充実した時間を過ごせたようでした。お別れのときに「孫が来てくれたみたいで嬉しかったよ」と涙ぐんで生徒に声をかけてくださった方もいらっしゃいました。

体験に行った生徒の感想・お礼状を紹介します。

●老人ホームに伺ったのは初めてだったのでとても緊張していましたが、温かい雰囲気でもて迎えてくださって嬉しかったです。考えていったクイズなどはすぐに答えられていて驚きました。でもすごく楽しそうにやっただき、こちらまで楽しませていただきました。塗り絵のときなど、みなさんのお話を聞かせていただくことができ嬉しかったです。



●人生の先輩方のお話を聞いて、多くのことを学ぶことができました。その中でも特に記憶に残っているのは高齢者の方の中学生の頃のお話です。当時、中学校は5年間だったと聞き、現在との違いを実感しました。最後に「これからの日本を支えるのは君たち」と言っていて、頑張っていこうと思いました。

●お話をうかがう前は不安になることも多かったのですが、お話をすることで、みなさんがとても優しく、温かい方々だと思い、楽しい時間を過ごすことができました。また、「自分の子供みたい」とおっしゃっていただいたときはとても嬉しかったです。素敵な時間を過ごさせていただき感謝しています。

●自分が生まれる前の戦争の話など、あまり聞くことのできない事を聞かせていただくことができ良かったです。他にも「100歳になるとまた1から数えられるからいいねえ」など楽しくお話をさせていただいてとても良かったです。とても可愛がってくださって嬉しかったです。

施設の方より：このたびは社会福祉体験学習に来ていただき誠にありがとうございました。当施設のご利用者様が大変感激をしておりました。ご利用者様のお子様、お孫様も成人しておられて、若い方々との接触の機会も少なくなっております。若い方々とのお話や楽しい歌、ゲーム等していただいたことに感謝しておりました。生徒さんも、高齢者さんとの活動を通して良い社会経験、貴重な経験をしたと思います。



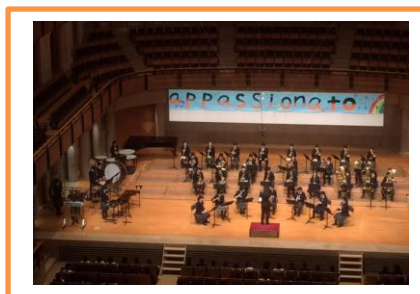
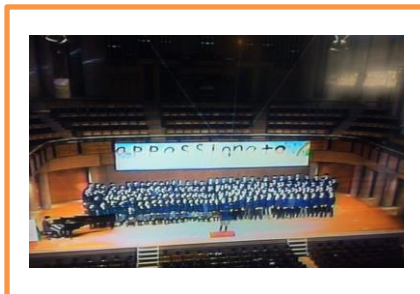
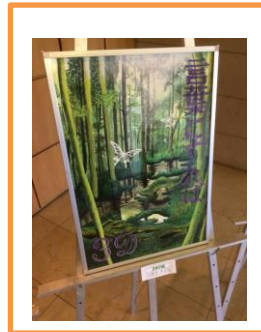
合唱コンクール結果速報

3月12日に所沢市民文化センターミュージズで「開校70周年記念合唱コンクール」が行われました。表彰されたクラスを掲載します。

	ゴールド金賞		銀賞	
1年	E組	「大切なもの」	A組	「変わらないもの」
2年	E組	「予感」	A組	「COSMOS」
3年	C組	「さくら」	D組	「言葉にすれば」

イメージ画コンクール

	グッドイメージ賞ゴールド	グッドイメージ賞シルバー
1年	C組	E組
2年	C組	E組
3年	D組	A組



重要 1, 2年生保護者様へ 学校連絡メールの年度更新方法の変更についてお知らせ

今年度「学校連絡メール（緊急一斉メール連絡網システム）」へ登録されているデータは、3月29日～30日（予定）にシステム業者により削除されます。新学期が始まりましたら、平成30年度用の登録手順書を配布いたしますので、改めて新クラスで登録をお願いいたします。今年度までは自動更新でしたが、これまでの情報はオールリセットされますのでご注意ください。兄弟姉妹が西中に在学している場合は各人の分を登録することになります。

学校連絡メールは、緊急時の連絡手段として使用します。学級連絡網は作成していませんので、全家庭で登録にご協力ください。（一家庭で2件まで登録可能です。）機器がないなどやむを得ない事情で登録できない方は、学級の保護者のつながりで情報が得られるようお願いいたします。